



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 F U J I 上場取引所 東 名
 コード番号 6134 URL <https://www.fuji.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 曾我 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部部長 (氏名) 巽 光司 TEL 0566-81-2111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	106,468	11.2	15,988	△10.1	16,456	△10.4	12,263	△7.9
2019年3月期第3四半期	95,778	9.6	17,785	11.1	18,363	9.4	13,309	5.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 12,520百万円 (32.9%) 2019年3月期第3四半期 9,421百万円 (△47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	134.25	127.21
2019年3月期第3四半期	145.70	138.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	199,179	170,034	85.3
2019年3月期	194,366	161,624	83.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 169,825百万円 2019年3月期 161,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	20.00	—		
2020年3月期 (予想)				30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

配当予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	6.9	18,600	△19.5	19,300	△17.7	14,300	△15.2	156.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	97,823,748株	2019年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,479,000株	2019年3月期	6,478,764株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	91,344,871株	2019年3月期3Q	91,345,592株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、2020年2月17日に当社ホームページに掲載いたします。

(参考)

2020年3月期の個別業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	2.7	14,700	△26.2	15,200	△25.4	10,900	△26.9	119.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

個別業績予想の修正につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 地域に関する情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の低迷を背景に景気に足踏み感が見られました。世界経済は、欧州では堅調な個人消費が景気を下支えした一方、中国では米中貿易摩擦の激化等により景気の減速傾向が続き、北米においては個人消費は底堅く推移したものの米中貿易摩擦による景気の先行き不透明感から企業の設備投資は伸び悩みました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を！』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。主力の電子部品実装ロボットや工作機械の分野でこれまで培ってきた自動化技術をさらに醸成させた独創的な製品の開発に取り組み、電子部品実装工程の全自動化を目指し世界初の自動部品補給システムを搭載したハイエンドモデルNXTTRを発表しました。また、グループ会社間の連携による国内外の販売・技術サポート体制の強化やトータルソリューションの推進、顧客満足度の向上により、継続的なマーケットシェアの拡大に努めるとともに、IoTを活用したより効率的で無駄のない生産環境の整備と充実を進め、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は106,468百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて10,689百万円(11.2%)増加しました。これは主に、既存のロボットソリューション事業において売上を伸ばしたことに加え、2018年9月30日をみなし取得日としてファスフォードテクノロジー株式会社を連結の範囲に含めた影響によるものです。一方、価格競争の激化による売価下落等により、営業利益は15,988百万円と、前第3四半期連結累計期間に比べて1,796百万円(10.1%)減少し、経常利益は16,456百万円と、前第3四半期連結累計期間に比べて1,906百万円(10.4%)減少しました。また、特別利益として投資有価証券売却益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,263百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて1,045百万円(7.9%)減少しました。

なお、当社は、電子部品実装ロボットの市場規模が年々拡大しているインドにおいて、現地代理店のサポートを強化することで顧客満足度を向上させ、さらなる市場拡大を図るため、2019年12月19日付でフジ インディア コーポレーション プライベート リミテッドを設立しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

ロボットソリューション

スマートフォン、次世代通信規格5G関連向け設備が引き続き中国で堅調に推移したことに加え、ベトナム、台湾、インド等他のアジア地域においても新たな設備投資が増えました。一方、景気の先行き不透明感から日本国内及び北米市場においては設備投資に対し慎重な姿勢が見られました。この結果、売上高は96,341百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて12,466百万円(14.9%)増加しました。一方、価格競争の激化等により、営業利益は18,295百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて1,424百万円(7.2%)減少しました。

マシンツール

主に中国及び北米市場における自動車関連の設備投資が軟調に転じたため、売上高は8,537百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて1,774百万円(17.2%)減少しました。また、販売台数の減少に加え、新工場棟建設に伴う減価償却費等の固定費増加により、営業損益は54百万円の損失(前年同四半期：営業利益841百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は121,894百万円となり、前連結会計年度末から3,365百万円増加しました。これは主に有価証券が2,071百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が5,055百万円増加したことによるものであります。固定資産は77,284百万円となり、前連結会計年度末から1,446百万円増加しました。これは主に株価上昇等により投資有価証券が1,031百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、199,179百万円となり、前連結会計年度末から4,812百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は18,895百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,268百万円減少しました。これは主に未払法人税等が2,813百万円、設備関係未払金及び設備関係支払手形（いずれも流動負債のその他に含みます）が2,522百万円減少したことによるものであります。固定負債は10,249百万円となり、前連結会計年度末から671百万円増加しました。

この結果、負債合計は、29,144百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,597百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は170,034百万円となり、前連結会計年度末から8,410百万円増加しました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が4,110百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が12,263百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて435百万円増加し31,287百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは11,070百万円の収入（前年同四半期：1,789百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等のプラス要因が法人税等の支払額や売上債権の増加等のマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6,321百万円の支出（前年同四半期：28,767百万円の支出）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4,056百万円の支出（前年同四半期：4,041百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ロボットソリューション事業において、通信機器関連での旺盛な設備投資需要に支えられ受注が好調に推移していることから、業績が前回予想を上回る見込みとなりましたので、2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月8日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。

なお、中国における新型コロナウイルスの感染拡大により生産、調達、販売に影響が出る可能性があります。当該事象に伴う影響については業績予想に織り込んでおりません。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,755	31,212
受取手形及び売掛金	35,256	40,311
有価証券	6,711	4,639
商品及び製品	9,502	8,471
仕掛品	21,378	22,574
原材料及び貯蔵品	8,840	9,398
その他	6,117	5,308
貸倒引当金	△34	△23
流動資産合計	118,528	121,894
固定資産		
有形固定資産	25,128	25,742
無形固定資産		
のれん	13,796	13,082
その他	11,696	11,776
無形固定資産合計	25,492	24,858
投資その他の資産		
投資有価証券	24,030	25,062
その他	1,186	1,620
投資その他の資産合計	25,216	26,682
固定資産合計	75,837	77,284
資産合計	194,366	199,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,273	9,269
未払法人税等	3,418	604
製品保証引当金	1,073	1,078
その他	11,398	7,942
流動負債合計	23,164	18,895
固定負債		
社債	7,234	7,228
退職給付に係る負債	577	199
その他	1,766	2,821
固定負債合計	9,578	10,249
負債合計	32,742	29,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,924	5,924
利益剰余金	146,928	155,081
自己株式	△7,781	△7,781
株主資本合計	150,951	159,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,867	9,462
繰延ヘッジ損益	11	10
為替換算調整勘定	1,721	1,277
退職給付に係る調整累計額	△117	△29
その他の包括利益累計額合計	10,482	10,722
非支配株主持分	190	208
純資産合計	161,624	170,034
負債純資産合計	194,366	199,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 12 月 31 日)
売上高	95,778	106,468
売上原価	56,326	66,904
売上総利益	39,452	39,563
販売費及び一般管理費	21,666	23,574
営業利益	17,785	15,988
営業外収益		
受取利息	202	186
受取配当金	421	460
為替差益	3	—
雑収入	154	103
営業外収益合計	782	750
営業外費用		
支払利息	1	△2
支払手数料	176	5
為替差損	—	268
雑支出	27	13
営業外費用合計	205	283
経常利益	18,363	16,456
特別利益		
固定資産処分益	26	15
投資有価証券売却益	43	728
特別利益合計	70	744
特別損失		
固定資産処分損	61	121
投資有価証券売却損	—	1
特別損失合計	61	123
税金等調整前四半期純利益	18,371	17,077
法人税、住民税及び事業税	4,800	4,157
法人税等調整額	239	618
法人税等合計	5,040	4,775
四半期純利益	13,331	12,301
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,309	12,263

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	13,331	12,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,372	595
繰延ヘッジ損益	10	△0
為替換算調整勘定	425	△463
退職給付に係る調整額	26	88
その他の包括利益合計	△3,909	218
四半期包括利益	9,421	12,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,438	12,502
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,371	17,077
減価償却費	4,381	5,034
のれん償却額	237	713
退職給付に係る資産負債の増減額	△362	△532
受取利息及び受取配当金	△624	△647
支払利息	1	△2
固定資産処分損益 (△は益)	35	105
投資有価証券売却損益 (△は益)	△43	△726
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,732	△5,150
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,815	△965
仕入債務の増減額 (△は減少)	2	2,181
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△79	858
その他	△685	△625
小計	9,685	17,320
利息及び配当金の受取額	626	653
利息の支払額	△6	△2
法人税等の支払額	△8,516	△6,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,789	11,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△700	—
有価証券の償還による収入	1,200	2,100
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,577	△8,901
有形及び無形固定資産の売却による収入	53	73
投資有価証券の取得による支出	△1,018	△390
投資有価証券の売却による収入	23	879
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△21,716	—
定期預金の預入による支出	△54	△54
定期預金の払戻による収入	34	3
その他	△12	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,767	△6,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△4,040	△4,055
自己株式の取得による支出	△1	△0
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,041	△4,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	361	△257
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,658	435
現金及び現金同等物の期首残高	58,923	30,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,265	31,287

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,875	10,311	94,186	1,592	95,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	1	33	3	36
計	83,906	10,312	94,219	1,596	95,815
セグメント利益又は損失(△)	19,719	841	20,560	△46	20,513

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,560
その他の区分の利益又は損失(△)	△46
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△2,731
四半期連結損益計算書の営業利益	17,785

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,341	8,537	104,878	1,589	106,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	—	9	87	96
計	96,351	8,537	104,888	1,676	106,565
セグメント利益又は損失(△)	18,295	△54	18,240	△12	18,228

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,240
その他の区分の利益又は損失(△)	△12
セグメント間取引消去	3
全社費用 (注)	△2,242
四半期連結損益計算書の営業利益	15,988

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	81,356	85.0	83,875	87.6	22,100	64.7
マシンツール	12,899	13.5	10,311	10.8	11,833	34.7
その他	1,473	1.5	1,592	1.6	204	0.6
合計	95,730	100.0	95,778	100.0	34,137	100.0

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	98,839	93.0	96,341	90.5	20,180	77.2
マシンツール	5,692	5.3	8,537	8.0	5,604	21.4
その他	1,776	1.7	1,589	1.5	357	1.4
合計	106,308	100.0	106,468	100.0	26,142	100.0

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	107,632	86.6	111,536	86.4	17,682	67.2
マシンツール	14,865	12.0	15,660	12.1	8,449	32.1
その他	1,756	1.4	1,907	1.5	170	0.7
合計	124,254	100.0	129,104	100.0	26,302	100.0

(2) 地域に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	10,936	39,132	18,643	10,786	4,581	10,631	1,068	95,778
構成比(%)	11.4	40.8	19.5	11.3	4.8	11.1	1.1	100.0

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	11,151	48,379	24,118	6,503	3,527	11,305	1,482	106,468
構成比(%)	10.5	45.4	22.7	6.1	3.3	10.6	1.4	100.0

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	15,359	49,094	26,968	14,523	6,205	15,467	1,485	129,104
構成比(%)	11.9	38.0	20.9	11.2	4.8	12.0	1.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

2020年3月期 第3四半期決算発表

2020年2月13日
株式会社 F U J I
(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の通期予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	138,000	6.9	18,600	△19.5	19,300	△17.7	14,300	△15.2

2. 当期の個別売上高・収益の通期予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	116,000	2.7	14,700	△26.2	15,200	△25.4	10,900	△26.9

3. 当期の連結受注高・売上高の通期予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高	売上高
	通期予想	通期予想
ロボットソリューション	133,500	125,500
マシンツール	8,000	10,500
その他	2,500	2,000
合計	144,000	138,000

4. 当期の主な科目の通期予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	通期予想
設備投資額	9,000
減価償却実施額	6,900
研究開発費	8,800

(注) 2019年11月8日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。